

08

げつようび

レムナントの でんどううんどう

ヨハネ
3章 15節

それは、信じる者がみな、人の子にあって永遠のいのちを持つためです。

伝道運動とは、サタンの落とし穴とわな、枠に閉じ込められている友だちを、福音によって救い出すことです。これが友だちを生かす本当の道です。福音以外は人を生かすことができないからです。

伝道運動をしようとするなら、まず私たちの生活において、キリストによる完全な答えが出なければなりません。そうすれば、キリストによって結論が出るようになります。そのような神の子どもの歩みには、三位一体の神様がともにおられます。行く所ごとに暗やみの勢力は縛られて、私を助けるために天の軍勢と御使いが動員されます。私のいる場所に神の国が臨んで、永遠のいのちを受ける友だちと出会うようになります。そのとき、友だちの悩みを解決することができる知恵が与えられ、根本問題に対する永遠の答えも与えることができます。

使徒パウロとローマ 16章に記録されている弟子たちは、伝道運動を通して神様が与えてくださる驚くべき祝福を味わいました。ローマ福音化の隊列に立った彼らは、その後、聖書に名前と呼び名が記録されるようになりました。今から私がまずキリストによる完全な答えが出ますように祈って、小さな実践を始めましょう。この祝福を味わうなら、いつのまにか伝道運動をして、世界福音化の隊列をリードしていく伝道弟子になっているでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。伝道運動の隊列をリードしていく伝道弟子になって、多くの友だちを生かすことができるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



書いてみよう

パウロといっしょに伝道運動をして、ローマ福音化の隊列に立っていた弟子たちの名前と呼び名があります。

ローマ 16章 1～23節を読んで、黙想しながら、7人の呼び名を見つけて書きましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



09

かようび

こどくな ともだちを みつけにいく レムナント

使徒 すると、ペテロは、「金銀は私にはない。しかし、私にあるものを上げよ
3章1～10節 う。ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい」と言って、(6)

マスメディアのニュースで、家庭内暴力や児童虐待ということばをよく聞きます。家庭は最も安全な場所だと考えられていたのに、今では外から気づきにくい犯罪が起きる場所になってしまったのです。そのような問題によって一人で悩み、その苦しみを一瞬でも忘れようとして何かにはまって中毒になったり、自分を傷つけるような危険な行動をする友だちが増えていきます。このような時代に生きている私たちは、まわりの友だちの話より一層、関心を持って聞かなければなりません。そして、ペテロのように、その友だちを訪ねて行って、すべての問題の答えである福音を伝えなければなりません。

ペテロが祈り時間に通った神殿の美しい門には、数多くの人が入り出ていました。その多くは、礼拝をささげるためにきれいに着飾った人たちでした。彼らは、一人で孤独だった足のなえた人を見て、小銭を投げるだけでした。小銭が解決策だと思っていたのです。そのとき、ペテロは足のなえた人に、いのちであるイエスの御名を宣言しました。

今日、やみの中に閉じ込められている孤独な友だちがいなかをよよく見て、福音の奥義を持って行きましょう。神様に喜ばれるまことのカウンセリングが始まるでしょう。

きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私に与えられた福音の奥義を味わうことができますように。また、福音の奥義を伝える孤独な友だちを見つげに行く準備をはじめることができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
適用しよう

いのちの福音を聞くことができず、出会うことができない、孤独な友だちがいます。友だちに完全な答えになる福音を伝えることを考えながら、数字の点をつなげて絵を完成させて、色をぬりましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

10

すいようび

イエスさまが あたえられる おいやすく かるい に

マタイ
11章 28～30節

すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。わたしは心優しく、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすればたましいに安らぎが来ます。わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。

重い荷物を背負って長い道を行かなければならないなら、どうでしょうか。少し歩いただけで肩から足の先まで、あちこち痛くなって、すぐに疲れてしまふでしょう。多くの人が、心とたましいに思い煩いと心配の荷物、私にある問題の荷物を背負って生きています。この荷物を長く背負い続けていると、他の問題もきてしまいます。イエス様は、その荷物について人の力で絶対に解決できない問題だと言われ、「重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい」と言われました。この重荷から抜け出せるように、条件なく、救いを与えられたからです。

このように救われた私には、どんな問題も問題ではありません。いつも、どこでも、神様がともにおられるので、孤独ではありません。また、すべての問題には神様の計画があるということを知って、心配しなくなります。

イエス様が与えてくださった負いやすく軽い荷を負うことにしましょう。それは、契約を握って世界福音化する確実な夢をみことばと祈りで描いていくことです。

きょうのみことば

.....
.....
.....
.....

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。イエス様が与えてくださる負いやすく軽い荷である世界福音化の使命を成し遂げる夢を与えてください。そして、みことば祈りでも導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを適用しよう

3つの質問を自分にして、神様の御声を確認しましょう。イエス様が与えてくださる負いやすく軽い荷を考えながら私だけの記録を残しましょう。

イエス様がともにおられるのに、私の思い煩いと心配の重荷をおろせずにいることはありませんか

私のすべての重荷をおろして、イエス様に祈っていますか

そのように祈るとき、どんな気持ちになりますか。



.....
.....
.....
.....

きょうのでんどう

会う人

.....
.....
.....

準備する資料

.....
.....
.....



11 よいちの ころ

マタイ 13篇11~13節

イエスは答えて言われた。「あなたがたには、天の御国の奥義を知ることが許されているが、彼らには許されていません。というのは、持っているものはさらに与えられて豊かになり、持たない者は持っているものまでも取り上げられてしまうからです。わたしが彼らにたとえで話すのは、彼らは見てはいるが見ず、聞いてはいるが聞かず、また、悟ることもしないからです。

大部分の人は、目に見えない霊的部分よりも、ただ肉体的な満足と成功を好みます。それゆえ、イエス様は、いつも弟子にたとえを使って語られました。霊的な耳で聞いて霊的な目で見ると人こそ悟ることができるようにされたのです。神様は、霊的なことを悟った、それが重要だと思ふ人を用いられます。マタイ13章には、イエス様が語られた種まきのたとえが記録されています。私が良い地である心を持って信仰の行いをすることを願いながら語られたことです。

私の心が道ばた、岩地、いばらの中のようななら、どうなるでしょうか。みことばの種がまかれても、それが根をおろすことも、実を結ぶこともできず、死んでしまいます。しかし、良い地に種をまけばしっかりと育ち、多くの実を結ぶように、福音の種が私の心にちゃんと植えられると、驚くほどの実を結びます。

私の心が良い地のようなことを祈りましょう。私の心に植えられた福音の種は、正しい神殿建築の証拠の実を結ぶでしょう。神様が私を世の中の文化を福音で変えるメイソン戦争の主役として呼ばれたからです。

おようのみことば

Blank lines for writing the daily verse.

おようのいのり

神様、ありがとうございます。良い地のような心になって、福音で世の中の文化を変えるメイソン戦争をする神殿建築の主役となりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



さんびしよう

09. 詩篇23篇

作詞/作曲: ユン・ユンミ

♩=115 ca.

D A/C# Bm /A G D/F# Em A

主はわたしのひつじかいとほしいことがありませんー

D A/C# Bm /A G A D

まきばやみずのほとりにともなわれます

Fine



おようのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
準備する資料

Grid area for writing names and preparation materials.



れいてき ながれを しる レムナント

9 Bm F#m G G/A D A/C#

死のかげのたにおそれないのは

13 Bm F#m G /G# A7

いつくしみとめぐみとにもあるから

D.C. al Fine



☆ようのでんどう

あひと
会う人

じゆんび
しりょう
準備する資料

また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らに教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。

マタイ
28章20節

私の学校や住んでいる地域で、いろいろな国から来た外国の人をよく見かけられるでしょう。多文化社会になっているという証拠です。神様は、なぜこのような環境にされたのでしょうか。福音を持っていけば、福音を必要としている霊的流れを知るようになります。それゆえ、福音が必要な世界の人々を、福音を持ったレムナントと福音を伝える教会のもとへ送られます。これは、イエス様が十字架で死なれ、三日目によみがえってキリストの働きを完成された後、天に昇られる前に残された最後の命令でもあります（使徒1:8）。世界福音化の証人になると言われました。しかし、多くのユダヤ人は福音を自分たちだけのこととして考えて、伝えずに、戦争と奴隷、捕虜の道を歩きました。その命令が私たちに届きました。私たちのそばに来ている多民族に福音を伝え、その中にいる隠された弟子を見つければ、彼らはその国の霊的流れを変える伝道者になるでしょう。私の小さな歩みと手助けが、霊的流れを変える事に用いられるように祈りましょう。



☆ようのみことば



☆ようのいのり

神様、ありがとうございます。世界のすみずみまで霊的流れを変えるレムナントとして、私たちのそばに来ている多民族を生かす世界福音化の祝福を味わうことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

13

どうぶつ

れいてき じこくひょうを しる レムナント

使徒
1章 14節

この人たちは、婦人たちやイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた。

神様は、時代ごとに伝道者を準備されました。聖書には、神様が伝道者を呼ばれた理由と、契約を回復するためにその人々を用いられたみことばが記録されています。

来られると預言されていたメシヤ、キリストであるイエス様が、十字架で死なれ、三日目よみかえられて旧約聖書のすべての約束を成し遂げられました。その後、昇天されるまでの40日間、オリーブ山に集まった人々に、神の国のことについて語られ、最後の命令を与えられてから天に上られました。(使徒1:8) この約束を握った人々は、マルコの屋上の上に集まって10日間祈りました。イエス様が約束された霊的時刻表が臨む時を待ちながら準備したのです。すると、人の力では防ぐことのできない炎のような、風のような聖霊の働きが臨みました。

私たちは、マルコの屋上の間(韓国語でタラッパン)で回復した伝道運動が繰り広げられている時代に生まれた伝道者です。福音を持ったレムナントとして呼ばれたのです。サタンは、契約をのがして福音を伝えることができないようにさせます。葛藤、葛藤、危機の前で、絶対に倒れることなく、神様が願われる霊的時刻表を待ちながら霊的戦いを始めましょう。そうすれば、現場を変化させるレムナントの祝福を味わうようになるでしょう。

みことば

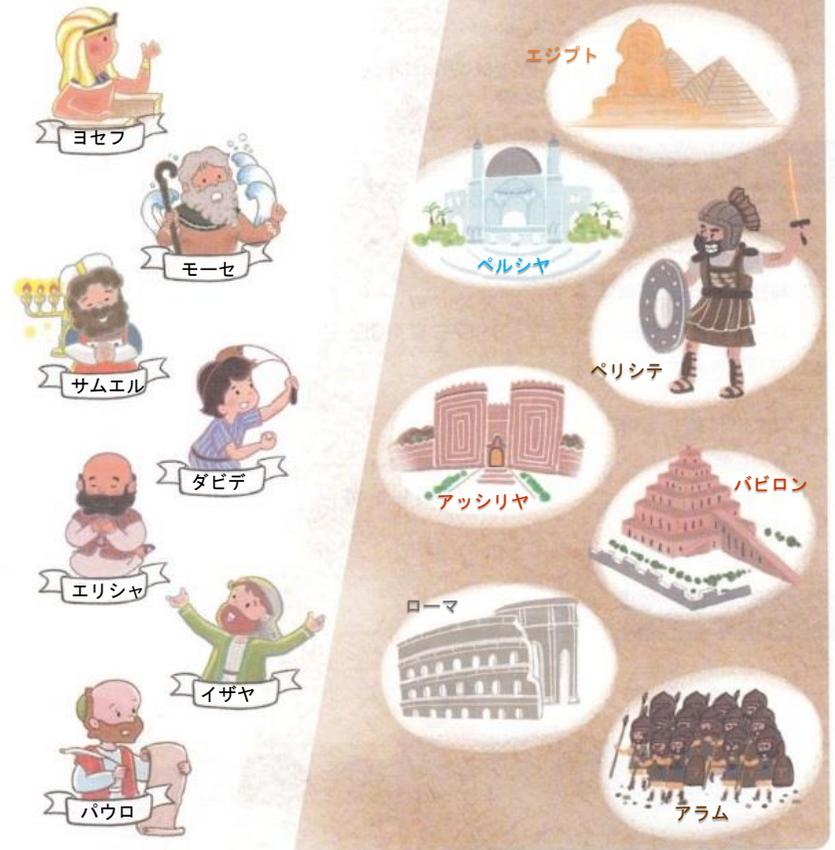
いのり

神様、ありがとうございます。この時代を生かす伝道者として、霊的時刻表を待ちながら契約を味わい、あかすレムナントとして導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
適用しよう

イスラエルに臨んだ7回のわざわいをふせいだレムナントとその時代の絵を線で結びながら、私に来る霊的時刻表を待ちましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Grid area for notes and materials preparation.